

令和 4年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課
 担当名：販売対策・6次産業化担当
 内線：4107 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B16	埼玉農産物輸出総合サポート事業		一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	海外新規販路対策事業費		
事業期間	平成27年度～ 令和 7年度	根拠法令	農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律			針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2
					分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-3	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国での経済成長、人口増加により、需要増加が見込まれ海外での商機が増している。</p> <p>そこで、県産農産物の販路を拡大するため、輸出を志向する生産者団体等への情報提供や輸出のニーズに対応した段階に応じた輸出支援、輸出先国でのプロモーションや商談を行い、県産農産物の輸出力の向上を図る。</p> <p>(1) 農産物輸出推進事業 3,687千円 (2) 狭山茶輸出販路拡大事業 2,692千円 (3) GFPグローバル産地づくり推進事業 7,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 農産物輸出推進事業 3,687千円 埼玉農産物輸出促進協議会を運営し、輸出に関するセミナー、研究会による情報提供などを行い、県産農産物の輸出促進を支援する。 併せて、海外でのプロモーションや商談会へを実施し、県産農産物の海外販路開拓・拡大を支援する。</p> <p>イ 狭山茶輸出販路拡大事業 2,692千円 欧州への狭山茶輸出を拡大するため、欧州において狭山茶のPRや商談を通じて、継続的な販売につながる販路を確保する。</p> <p>ウ GFPグローバル産地づくり推進事業 7,000千円 輸出相手国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制等の取組を実施する生産者団体を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物輸出促進協議会の運営、農産物輸出関連情報の提供及び研修会、農産物フェア・商談会の開催 イ 欧州において狭山茶のPRや商談の実施 ウ 輸出相手国に対応した取組を実施する生産者団体等の支援 1団体</p> <p>(3) 事業効果 県産農産物等の輸出の増加</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ジェトロ埼玉、農協、マーケティング研究機関、国内外の商社等と連携し、効果的な事業実施を図る。</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県10/10) (2) (県10/10) (3) (国10/10、県0) 事業者0</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.5人=14,250千円									
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額		国庫支出金	諸収入						
決定額	13,379	7,000	1,500				4,879	△4,041	
前年額	17,420	10,000	1,000				6,420		